

(お知らせ)

平成17年度米海兵隊との実動訓練の概要について

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により訓練するとともに、相互の戦術技量の向上を図る。

2 時期

平成18年2月19日(日)～3月3日(金) (18日間)

3 場所

あいば野演習場、今津駐屯地(以上、滋賀県)日本原演習場及び日本原駐屯地(以上、岡山県)

4 担任官

- | | | |
|---------------------|-------|--------------|
| (1) 日本側：第13旅団長 | 陸 将 補 | 内田 益次郎 |
| (2) 米 側：第3海兵機動展開部隊長 | 海兵隊中將 | ジョセフ・F・ウェーバー |

5 訓練実施部隊及び規模等

(1) 日本側

ア 第8普通科連隊(米子駐屯地所在 連隊長 1等陸佐 日根野 伸一)

イ 人員 約350名

ウ 主要装備

(7) 共通

9mm拳銃、5.56mm小銃、5.56mm機関銃、84mm無反動砲、携帯対戦車弾(LAM)
支援ヘリコプター(OH-6、UH-1、CH47)

(イ) あいば野演習場のみ

87式対戦車誘導弾(ATM)、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲

(2) 米 側

ア テキサス州第1-23予備役大隊C中隊基幹

イ 人員 約250名

ウ 主要装備

(7) 共通

9mm拳銃、5.56mm小銃、5.56mm機関銃、7.62mm機関銃

(イ) あいば野演習場のみ

対戦車ロケット・ランチャー(SMOW)、80mm迫撃砲 ほか